

令和6年度 友愛苑拠点 事業計画書

I. 拠点内容

サービス区分

- ・ 特別養護老人ホーム 友愛苑（指定介護老人福祉施設） 定員100名
- ・ 〃〃 （短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護） 定員 10名
- ・ デイサービス こだま（通所介護・介護予防通所介護） 定員 35名
- ・ 友愛高齢者生活支援センター（居宅介護支援）

II. サービス取り組み

全 体：困っている人に手を差し伸べる友愛の心を大切に支援に励みます。
地域に無くてはならない友愛苑を職員一人一人が日々意識して努めます。
職員同志が助け合い協力してサービス提供に努めます。

1. 各サービスの取り組み

A) 特別養護老人ホーム 友愛苑（短期入所生活介護含む）

◆ 行動指針

- ・ 利用者主体のやさしい心で介護します。
- ・ 笑顔が溢れる暮らしを提供します。
- ・ 地域に愛され親しまれる友愛苑を支えます。

◆ 事業方針

- ・ 友愛苑が法人の中核施設であることを認識し、法人経営に貢献します。
- ・ 特養入居、短期入所を柔軟に活用し、合計稼働率を高め収入増を図ります。
- ・ 申し込みから迅速かつ丁寧な対応で入居および入所に繋がります。
- ・ 感染対策を徹底し、安心・安全な入居・入所生活の提供に努めます。
- ・ 物価高騰を鑑み、経費節減に取り組み利益率の向上に努めます。

◆ サービスの取り組み

➤ 介護サービス

- ・ 法人理念・行動指針の周知を徹底し、笑顔を忘れず、気づきを大切にして思いやりのある温かい介護サービスを提供することによりご利用者の満足度を高めます。
- ・ 高齢者虐待防止、身体拘束廃止の委員会の義務化に伴い、各種会議（定例・リーダー・安全対策・災害対策・感染症対策・給食・衛生）の充実を図り、居心地の良い安心・安全な生活環境を維持し、リスクマネジメントに努めます。
- ・ 年1回の虐待義務研修や各種研修において、要援護者の人権尊重について職員一人一人に考える機会を与えると共に、職員のハラスメントやメンタルヘルスにも配慮

して不適切なケアの発生予防に努めます。

- ・ 機能訓練指導員（理学療法士）を中心とし、機能訓練の充実と自立支援を基にした生活リハビリの更なる充実を図ります。

➤ 医療的ケア

- ・ 新型コロナウイルス等の感染予防に対する研修を全職員対象に開催し、知識、対応方法の習得及び注意喚起を行います。
- ・ 協力医療機関と嘱託医との連携を強化し、臨機応変な医療的ケアに努めます。
- ・ 昨年度、退所件数36件のうち25件（R6.2.28現在）が看取り介護でありました。看取りの方のお見送りはご家族から大変感謝の言葉をいただいておりますので、今年度も更に嘱託医と医務、多職種との連携を更に深めて、ニーズに柔軟に対応して、引き続き尊厳ある看取り介護に取り組んでまいります。
- ・ 入所者の褥瘡の発生と関連リスクを把握し褥瘡の改善及び発生の予防に努めます。
- ・ 月一回医療研修を行い、介護職員の医療知識の向上を図ります。
- ・ 口腔衛生管理の包括義務化に伴い、年2回の口腔ケア研修を実施します。

➤ 食事サービス

- ・ 栄養士と委託給食会社が連携し、献立に季節感のある食材を取り入れます。
月に1回イベント食を実施し、食事の楽しさを提供します。
- ・ ユニットごとに食事レクリエーションを実施し、苑での食生活が豊かになるよう企画、提案します。
- ・ 一人一人のニーズを把握し、個別対応を充実させ、適切な栄養管理に努めます。

➤ その他

- ・ 全体行事の開催やボランティアの受け入れを実施・充実してまいります。
- ・ ユニットごとの環境整備を継続し、居心地の良い居住空間を提供します。
- ・ 職員の意見を取り入れ、働きやすい職場環境づくりや感染対策に取り組み、安心して働ける職場づくりに努めます。
- ・ 設備・機器の自主点検を行い設備業者さんと共同して、19年目を迎える施設財産の老朽化に対応する大規模改修の計画を建てて、施設管理に努めてまいります。
- ・ 休暇や育児・介護で急な休みでも取得しやすい職員間のお互い様意識を高めます。
- ・ 送迎車両ハイゼットが車検満了で廃車予定のため、車両更新をする予定です。

◆ 今年度の重点取組

- ・ 法人居宅事業所とあんすこセンターと協力して入居者獲得の営業活動を実践します。
- ・ 感染対策を図りながら、ご家族と一緒に楽しめる季節行事の開催を検討します。
- ・ 法人のインスタグラムにおいて元気に楽しんでおられる様子を発信してまいります。
- ・ 各種担当会議の活動状況・方針を職員へ周知し、施設間・職員間の連携を深めます。
- ・ 令和3年度に提案させていただいた、友愛苑敷地内に診療所を開設する件については検討を継続してまいります。

B) デイサービス こだま

◆ 行動指針

- 地域とのつながりを大切にし、関わりを深め、地域の一員として成長していきます。
- 利用者個々の声を聴き、想いを汲み取り、喜びのある暮らしを支援します。
- 常に専門職として誇りを持ち、知識や技術の向上に努めます。

◆ サービスの取り組み

➤ 健康管理

- ・ ご利用者・家族さんと主治医、疾病、治療内容、薬の種類の確認及び健康状態の情報を共有し、適切な支援ができるよう健康と日常生活動作の維持・向上に努めます。
- ・ サービス利用時のバイタルチェックの実施と、状態を観察し、心身の変化などの必要な情報は介護者やケアマネージャーと共有し、安全なサービス提供に努めます。
- ・ 高齢者事業所の感染リスクを勘案し、マスクの装着や換気・消毒などの感染予防対策を行うとともに、タイムリーな情報収集・発信に努め、ご利用者・家族さんへの情報提供・注意喚起を行います。

➤ 介護サービス・機能訓練

- ・ 季節感を取り入れた行事やレクリエーションを行い、社会性の維持を図ります。
- ・ コミュニティ形成支援や職員との関わりにより、孤独感の解消を図ります。
- ・ 過剰な介護を慎み、自立支援できるよう、職員の資質向上に努めます。
- ・ 作業療法士の雇用により、生活場面を想定した生活機能維持向上訓練ならびに園芸療法に取組、機能訓練の充実を図ります。
- ・ 認知症介護実践者研修修了者を中心とし、認知症の方が穏やかに過ごしていただけるよう、チームで認知症ケアに取り組みます。

➤ ご家族への支援

- ・ ご利用者・家族さんに安心してサービスを利用していただけるよう、日常から送迎時、電話連絡、連絡帳を通じてコミュニケーションを図り、信頼関係の構築に努めます。
- ・ ご利用者に適した介護技術や福祉用具など専門的なアドバイスが行えるよう、研修により職員の知識向上に努めます。
- ・ ご家族のレスパイトを重視して支援に努めます。

➤ 事故防止

- ・ ご利用者個々の心身の状況や日々の変化を観察し、ケアマネージャーや家族さんから情報収集する事で転倒予防に努めます。
- ・ 収集した情報の記録やヒヤリハット記録、インカムを活用した職員間の情報共有を行い事故防止に努めます。
- ・ 施設設備や備品等の衛生管理と自主点検により、危険箇所の改善を行い事故防止に

努めます。

- ・ 事故報告をもとに検証・分析を行い、事故の再発防止に努めます。

◆ 今年度の重点施策

昨年同様、引き続き感染対策に配慮してレクリエーションの企画・提案をし、ご利用者に楽しんでいただけるよう工夫して実施いたします。

- 機能訓練指導員（作業療法士）のリハビリ専門職の指導と伴に、「LIFE」システムを活用することにより、計画・実行・評価・改善のサイクルを実践し、科学的に裏付けされた機能訓練計画により、自立支援介護の提供を目指します。

C) 友愛高齢者生活支援センター

◆ 行動指針

- 地域との交流を積極的に図り、地域課題の抽出・対応に努めます。
- ご利用者の意思に寄り添い、適切なアセスメントに基づき本人の強み(ストレングスモデル)を引き出し自己決定により、自立した生活が営む事ができるように支援していきます。
- 出来るだけ多くの研修に参加して職員一人一人が知識を深め、学ぶ喜びを仲間と共有してご利用者の利益に繋げていきます。

◆ サービスの取り組み

<職員の質の向上について>

- 毎週、居宅情報共有会議を開催し、併せて「事例の検討会・学習会」を月に一度、各職員が担当し開催致します。
- 職員が相互に協力し、積極的に研修会等に参加、同法人や他法人の垣根を越えて交流を図り、上記情報共有会議にて振り返りを行い、職員の資質向上に努めます。
- 各自、スキルアップの為、自己学習・自己研鑽に努めます。

<効率性の向上について>

- 職員間での円滑なコミュニケーションを図り、職員個々の問題の抱え込みを防ぎ、相談のしやすい職場環境、風土作りを推進します。
- タブレットを有効活用して、現状の業務内容を再確認し、課題・問題点を洗い出して業務の効率化を図ります。

◆ 今年度の重点施策

<人材育成について>

- 管理職の育成を念頭において、主任介護支援専門員が「スーパービジョン」を行い、職員間の協力・連携体制を充実してまいります。
- 他事業所との関わり・事例検討会、交流機会の場に参加し視野を広げていきます。

- ヤングケアラー、障害者、生活困窮者、難病患者など、他制度に関する研修に参加して知識を高めていきます。

＜働き方改革に伴う職員の業務管理について＞

- 有給休暇の取得率の向上・リフレッシュ休暇が取得できるように努めます。
- 職員の相互協力体制構築により、体調不良や育児・介護でも急な休みを取りやすい環境を作り、ワークライフバランスの向上を図ります。

＜感染対策について＞

- ・ 職員の健康管理に注意を払い、5類移行後も引き続き感染対策を怠らぬよう努めます。
- ・ 日々の訪問時等においても、ご利用者の感染対策に配慮し、万全を期して対応してまいります。

＜災害時対応について＞

- ・ BCPを作成し、有事に備え迅速な対応がとれるよう、事業所内で利用者対応リストを管理し定期的に更新して情報共有し、シミュレーションを行います。
- ・ 令和6年度、報酬改定による介護予防支援の指定を受けます。

2. 拠点リスクマネジメント体制

- ・ 毎月1回の安全管理委員会の議論内容・リスク管理について、安全管理担当者から特養ユニット会議やデイサービスフロア会議、居宅会議などへ情報共有します。
- ・ ICT化補助金を活用してセンサーを導入し、職員の業務負担の軽減・安全対策を充実します。
- ・ 感染対策委員会により、策定した感染症BCPを周知し、施設内感染拡大を防ぐため、定時委員会・臨時委員会を開催し、感染発生時や感染疑い事例に迅速に対応し感染対策に努めます。
- ・ 年1回の防犯訓練を警察ならびに警備会社の協力の上で実施します。

III. 職員体制・教育

1. 職員配置及び人件費

A) 特別養護老人ホーム友愛苑(短期入所生活介護含む)

- ◆ 施設長 1名・副施設長 1名・生活相談員 3名・栄養士 2名・看護職員 6名・機能訓練指導員 1名・介護支援専門員 1名・介護職員 58名・事務員 5名(運転士含)
- ◆ 別紙予算案参照

B) デイサービスこだま

- ◆ 管理者 1名・生活相談員 2名・看護職員 2名・機能訓練指導員 1名・介護職員 7名・運転士 2名
- ◆ 別紙予算案参照

C) 友愛高齢者生活支援センター

- ◆ 介護支援専門員 5名

◆ 別紙予算案参照

2. 人材確保・定着率向上対策

- ・ 職員同志が思いやりを持ち、助け合う職場風土を醸成し定着率を高めます。
- ・ リフレッシュ休暇や親睦会及びサークル活動の支援により職員のエンゲージメント向上に努めます。
- ・ 休暇や育児・介護で急な休みを取得しやすい職員間のお互い様意識を高めます。
- ・ 各種ハラスメント対策を充実、相談・報告しやすい窓口体制を職員へ周知する。
- ・ 会議や上司との面談を通じ、日頃から相談・提案しやすい関係づくりに努め、上司・同僚からのフォローアップを推進します。
- ・ ご意見箱と共に改善提案箱を設け、環境整備・業務改善に努め、働きやすい職場づくりに取り組みます。
- ・ 今年度はネパールの特定技能介護職員 3 期生を 2 名増員し、介護人財の安定を図ります。

3. 職員教育

- ・ 管理者研修を開催し、教育体制の充実を図るとともに、インカム等も活用し OJT への取り組みを深めます。
- ・ 別紙研修計画に基づき、リモート機器の活用等の感染対策を施し内部研修を開催していきます。
- ・ 職員の資質向上のため、リモートでの参加も含め積極的に外部研修への参加を促していきます。

IV. 会議・委員会等

1. 会議

A) 共通

- ・ 別紙参照

B) 特別養護老人ホーム友愛苑(短期入所生活介護含む)

- ・ 別紙参照

C) デイサービスこだま

- ・ 別紙参照

D) 友愛高齢者生活支援センター

- ・ 別紙参照

2. 委員会

A) 共通

- ・ 別紙参照

B) 特別養護老人ホーム友愛苑(短期入所生活介護含む)

- ・ 別紙参照

C) デイサービスこだま

- ・ 別紙参照

D) 友愛高齢者生活支援センター

- ・ 別紙参照

V. 防災計画

災害対策委員会委員を中心に策定した自然災害 BCP を周知し、防災対応・防災設備の点検取扱を含めた施設内対策とともに、地域の要援護者のための福祉避難所開設訓練を継続して災害対策に努めます。

渦が森小学校区防災福祉コミュニティに参加して、地域の防災にも取り組みます。

消防計画に基づき、年 2 回職員入所者参加の避難・誘導・消火訓練を行います。防災訓練についても、大規模災害を想定したシミュレーションを行います。定期的に災害対策委員会ですべての職員に対する備えを講じるとともに、

VI. 事業収支計画

A) 特別養護老人ホーム友愛苑(短期入所生活介護含む)

- ・ 目標稼働率を年間平均 93.0%と設定し、高い稼働率の維持を目指します。
- ・ 介護保険収入ベースで 588,710 千円を目指します。
- ・ 人件費としては、年間 372,540 千円を確保させていただきます。
- ・ 経費としては、経年劣化の修繕を見越し、年間 148,120 千円を計画させていただきます。

B) デイサービスこだま

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響による稼働率低下からの回復を目指し、目標稼働率を年間平均 75.0%、年間平均介護度を 1.9 と設定し、稼働率の向上及び中重度対応に努めます。
- ・ 介護保険収入ベースで 82,860 千円を目指します。

C) 友愛高齢者生活支援センター

- ・ 居宅介護サービス計画作成 1 ヶ月平均 145 名・介護予防数 50 件程度を目指します。